

シルバー

エコー



第 326 号 平成 31 年 1 月 15 日発行

公益社団法人 三田市シルバー人材センター
〒669-1323

三田市あかしあ台 5-32-2

TEL 564-7501 FAX 553-1300

Eメール sandasilver631015@sandasc.org

ホームページ <http://www.sandasc.org/>

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、ご健勝で、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、4月に天皇陛下が退位され新天皇が即位し、5月には新しい元号が始まる、平成最後の年にあたります。

昨年は、2月の豪雪に始まり、6月、9月に大阪、北海道で相次ぎ発生した大規模地震、7月の西日本豪雨による広範囲な災害や、例年にない発生件数で日本列島を襲った台風など、多くの方が天災、風水害で、生命、財産をなくされた平成最悪の年となりました。

逆に、記憶に残る明るい話題としては、将棋の藤井聡太君が15歳9か月で7段に昇段、その後16歳2か月で新人王戦優勝と、将棋ファンならずとも、大変記念すべき出来事となりました。またスポーツ界では、9月に大坂なおみ選手が全米オープンテニスで、日本人として初めての優勝という輝かしい活躍の年であり、その他にも若者の活躍に一喜一憂した年ではなかったかと思えます。

さて、昨年末までのシルバーの運営状況は、会員数が年度当初からはやや減ったものの、1,138名と昨年同期より増加した状況を維持しております。受注件数は11月末現在で昨年度より76件減少しましたが、大口の受注件数が増えたことにより、契約金額は前年度に比較して、160万円の増加と多少上昇している状況です。

このことは、会員の皆さまや事務局職員の努力の賜と感謝しております。しかし、財政面では決して安堵できる状況ではなく、今後より一層の事業拡大を行い、財源確保に努めなければなりません。

現在の状況は、経費の節減で財源を確保することは非常に困難で、会員の増加と受注拡大を図り、より多くの会員の方々が就業できる体制を樹立し、就業提供のミスマッチを発生させないことが重要であり、仕事の依頼を極力逃さない取り組みが必要と考えます。

また、賠償、傷害事故の発生件数増加という全国的な傾向により、事故発生率が高い就業に関して、就業内容の見直しを検討する必要があるのではないかという声もあり、今までご利用いただいている市民の皆さまや企業の方々に、引き続き安心してご発注いただけるよう、「安全就業体制」の確立も今まで以上に重要と考えています。

最後になりますが、今年の干支は「亥年」で十二支最後の年、最後とは始まりの前。まさに次にやって来る新たな時代に向けて、最もエネルギーを蓄えられる年です。当センターも亥年にあやかり、勢いに乗って前進ができますように、今年も宜しく願い申し上げます。

第5回 理事会開催

去る12月21日(金)、本年度5回目となる理事会が開催されました。

主に、各部会及び委員会からの報告事項となり、各事業の進捗状況などが報告され、その中でも、理事が月毎の経理処理や事業運営に関して、どこまでかわるかなど活発な議論がされました。

また、協議事項としては職員の退職にかかわる規定の改定や、公文書の定義などを盛り込んだ情報公開に関する規定の改廃等について協議され、承認を得ました。

メディアの現場を体験・見学ツアー



三田市シルバー人材センター高平地域班の皆さん

12月12日(水)朝7時45分に、高平ふるさと交流センターを出発。高平地域班の半数を超える24名が参加しました。

今回は見学がメインということもあり、アルコールはちょっと控えて、予定通り10時前にNHKへ到着。気象予報士や、ニュースキャスターの体験をしました。そこには色々な仕掛けがあって、「こんな風にして気象地図を説明しているのか。」「そうか、こんな風にしてアナウンサーはしゃべってるのか。」など、理解することができました。後は実際のスタジオ風景をツアー用の窓からのぞいたり、朝ドラで使ったセットで、撮影の様子を解説して貰いました。

NHKを後にして、USJ前のホテルのランチバイキングでおなかを満たし、次は西宮にある朝日新聞社阪神工場へ向かいました。

まずは記念撮影をし、レクチャーの後早速見学コースへ…大阪本社で編集された紙面が、通信回線を経て工場に送られ、兵庫県全域へ発送される新聞として印刷されています。

膨大な量となる印刷は全て自動ラインとは言え、少ない作業員で出荷まで行っていることに驚かされました。最後に、撮影した写真が印刷された特別版の新聞を、記念に頂いて見学は終了しました。

全ての見学ツアーを3時ごろに終え、高平へ予定通りの時間に帰着し有意義な一日でした。翌朝、朝日新聞の三田版には、見学団体として地域班名が掲載されていました。

就労相談窓口 奮闘中

県下で「ひょうご生涯現役促進事業」が開始され、三田市でも三田駅前のキッピーモール6階にある、まちづくり推進センター内で就労相談の窓口を開設し、約2ヶ月が経ちました。

シルバー会員2名が交代で、週3日(火・木・金曜日)の午前中に対応していますが、カウンターに座って、ちょっとした雑談にはなるものの、就労相談をするまでには、なかなか至らないようです。

空き時間には、併設する「いきがい応援プラザ～HOT～」のスタッフと意見交換をしたり、電子端末を操作するなど情報収集に努めていますので、お知り合いなどで、就労に関するお悩みがある方があれば、相談窓口をお勧め下さい。



園芸愛好家の皆さんへ・・・

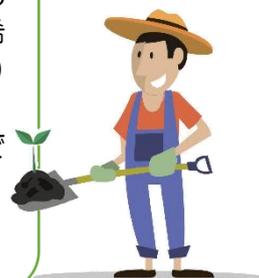
無料提供!!

有馬富士公園の植栽管理作業で発生する、残材(草、枝葉等)の再利用として、竹パウダーや納豆菌等と混ぜ合わせて、有機肥料を試験的に作っています。

市内の緑地管理を行う一部の団体などに提供していますが、まだ余裕があるのと、使用後の感想や意見などを取り入れたいこともあり、会員の中で使用を希望される方に**無料**でご提供したいと思います。家庭菜園・プランターの土作りや、植木の寒肥えなどとしてお使いいただけます。

使用してみたい方は、事務局まで希望数量(キ口数)をお伝え下さい。手配でき次第、改めてご連絡させていただきます。

○お電話、FAX、メールにて、お名前と希望数量を事務局までご連絡ください。



1月16日からの行事

- 1月16日(水) 仕事の相談日(10:00~)
23日(水) シルバー感謝祭反省会
場所:ウッディタウン市民センター
- 2月 7日(木) 業務部会(10:00~)
福利厚生部会(14:00~)
- 2月 8日(金) 入会説明会(13:30~)
- 2月20日(水) 仕事の相談日(10:00~)
女性会員限定相談会(13:00~)
- 2月21日(木) 75歳以上限定相談会(10:00~)

次回の配分金の支払いは
2月12日(火)です。

月度	平成29年度実績	平成30年度速報
会員数(人)	1,115	1,146
受注(件)	2,499	2,377
金額(千円)	390,072	388,720

新入会員紹介(順不同・敬称略)

6名の方が登録されました

個人情報のため、お名前は伏せています。

オカリナサークル 市庁舎コンサート出演

温もりのあるオカリナの音色をお聴きください~♪



- ☆日時: 1月17日(木) 17:30~
☆場所: 三田市役所本庁舎 1階ロビー
☆演目: 冬の童謡メドレー、聖者の行進など全9曲
☆料金: 入場無料(駐車料金無料扱いあり)

笑顔研究所

あなたが笑顔になる時は

そわ よしお
曾和 芳男 さん



入会は平成20年12月です。藍地区にお住まいの元気ハツラツ70歳です。

現役引退と共にまだまだ仕事に励みたいから、と入会。当センターの催すいろいろな行事、活動にも積極的に参加されています。

お話を伺うと、趣味の多様さ、知識の奥深さに驚か

されました。

まずは、サイクリングです。友人から譲り受けた自転車が、たまたまプロの使うような優れたものだったため、その面白さにはまってしまい、能登半島や鳥取、九州など全国をサイクリング旅行されたそうです。一日で170キロも走破した時もあったとか。

ゴルフも大好きで、65歳になってから毎年1回タイのチェンマイまで遠征されています。このゴルフ場は海拔1,500メートルで空気が薄く、ドライバーがびっくりするほど遠くまで飛び、気持ちよくプレーができるとのこと。

シルバーのゴルフ同好会のメンバーでもあり、「1回目から、皆勤賞ものですわ!」と笑っておられました。あちこちの大会で顔なじみの人と再会し、やあやあと和やかに話がはずみます。ゴルフに限りませんが、こういう出会いが楽しみなんです、とおっしゃいます。

海外旅行では、台湾の故宮博物館が印象深かった、とのこと。「ツアーのメンバーは全員観光地巡りを楽しみましたが、私だけはここに5日間通い詰めました。漢字は得意で、白文でも読むことができますので、唐の時代から現代まで、秘蔵の書物や掛け軸などをじっくり観賞・精読していました」。

それ以外の趣味は、古墳の発掘調査、各地の由緒ある寺社巡り、古文書解読、書画骨董鑑賞、読書、映画、ビリヤードなどなど多彩です。

最後に、笑顔のなられるときは?とお尋ねすると、「いろいろな集まりで皆さんと飲み、かつ食べ、好きなことをしゃべり合う、こんな時が最高ですね!笑顔満開です」とのお話でした。(T・N記)



小学生のプログラミング

2020 年度よりプログラミングが学習要綱にはいり、実際に授業を小学生が受けることとなりそうです。

プログラムってコンピュータを動かすものとして認識されていないのが現状です。しかしながらプログラミングの考え方は日常の生活において気付かないうちに使っています。

例えば、料理をつくる際、材料の在庫を調べ、安く、早く、簡単にできる料理を探し不足材料を調達し、実際につくります。この過程がまさにプログラミングでそれを自動実行できるようにプログラム言語で書いてゆくことになります。

小学生が学ぶ際、最初のレベルではプログラミング言語を使うことはありません。個別の処理をどういう順番で処理すると目的の事ができるかを考えるのが主となります。人生経験が豊かであれば論理的な展開は十分に理解できますので、子供に教えることは十分に可能です。孫に教えて尊敬されるかもしれません。

教える側にも大きなメリットがあります。

- ① 孫にプログラミングを教えながら自らの脳を活性化できます。
- ② 子供とコミュニケーションがとれます。
- ③ 上級者になるとラズパイ（数千円の超小型ボードコンピュータ）で本格的プログラミングを楽しめます。安価な趣味を増やせますね。

無理強いせず、興味がありそうな子にやさしく教えてあげましょう。

左図は教則の一つです。子供一人ではできないことが多いので、子供と一緒に学んでみませんか。

(H・Y記)



折々の花 フクジュソウ(福寿草)



1月1日の誕生花であることから、ガンジツソウ（元日草）とも呼ばれます。

原産国は日本で、北海道から九州の山野に生育します。路地植えでもよく育ちます。

キンボウゲ科の多年草で、春を告げる花の代表です。早春のウメの花がほころぶ頃から蕾を持ち上げ、後を追うように咲く黄色の大輪花はとても見事です。江戸時代から園芸種として愛されてきました。

このフクジュソウは幸福と長寿を意味し、新春を祝う花として名づけられました。ナンテン（南天）とセットにして、「難を転じて福となす」という縁起物の飾りつけに使われたりします。

ヨモギのような葉っぱや根には強い毒性がありますので、食用にはなりません。漢方の民間医療薬として使われることもありますが、慣れない人には控えた方がよいと言えます。

花言葉は「永久の幸福」「思い出」「祝福」などです。
(T・N記)

気まぐれトーク

2018 年を表す漢字は「災」でした。2004 年以来 2 度目です。記録的猛暑に地震や豪雨、台風などが続いたことと、今後、災害の被害減少を願う思いで選ばれたそうです。

平成がもうすぐ終わります。私の平成 30 年間の漢字一文字に表したら何だろう。

三田市に越してきたのは平成に変わる直前。結婚して 6 年目で、子育てに一生懸命な頃。悩みは尽きなかったけれど子育ては楽しかったな。できればもう一度子育てをしてみたい!?

次女の小学校入学を機に、ボランティアサークルに入会し、家族の理解を得ながら活動を続けてきました。2000 年には夫の転勤に伴い、福岡へ。4 年間で過ごし、一生付き合える友人と出会いました。犬や猫と暮らす面白さも知りました。

今は夫、次女、猫との 4 人暮らし。思い通りにさせてくれた家族に感謝。私らしく晴れやかに過ごせた 30 年でした。「愉」が私の平成を表す漢字です。



次はシルバー世代に進みます。
(A・O記)